

# 中小企業景況調査報告

(第1四半期)

2019年4月～6月期実績

2019年7月～9月期予測

2019年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

## 1.調査要領

### (1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、平成30年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

### (2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

\*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

### (3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

### (4) 調査機関

2019年4月～6月期実施

### (5) 調査時点

2019年6月1日

### (6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50-20= (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

## 2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）\*DI値のみ

業種	今期の状況 (2019年4月～6月)		次期の見通し (2019年7月～9月)
	前年同期 (2018年4月～6月)に比べて	前期 (2019年1月～3月)に比べて	次期 (2019年4月～6月)に比べて 来期の見通し
製造業	±0	±0	±0
建設業	50.0	50.0	±0
小売業	±0	±0	±0
サービス業	±0	±0	±0

**製造業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (2019年4月～6月)		次期の見通し (2019年7月～9月)
		前年同期 (2018年4月～6月)に比べて	前期 (2019年1月～3月)に比べて	次期 (2019年4月～6月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	3	3	3
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上 (加工)額	増加	1	1	/
	不変	1	1	
	減少	1	1	
	D・I	±0	±0	
売上 (加工)単価	増加	1	0	/
	不変	2	3	
	減少	0	0	
	D・I	33.3	±0	
売上 (加工)数量	増加	1	1	/
	不変	1	1	
	減少	1	1	
	D・I	±0	±0	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	3	3	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
原材料 仕入単価	上昇	3	/	/
	不変	0		
	低下	0		
	D・I	100		
採算 (経常利益)	好転	1	/	/
	不変	1		
	悪化	1		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

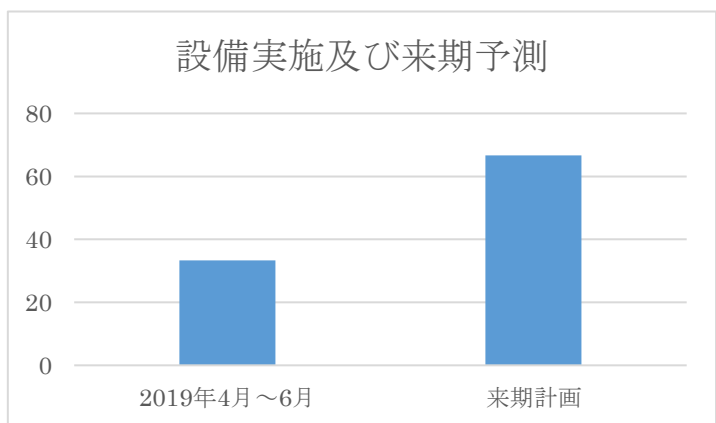
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施は有り。

【来期計画内容】

回答事業所の内、来期 66.7%計画。

●生産設備=100%

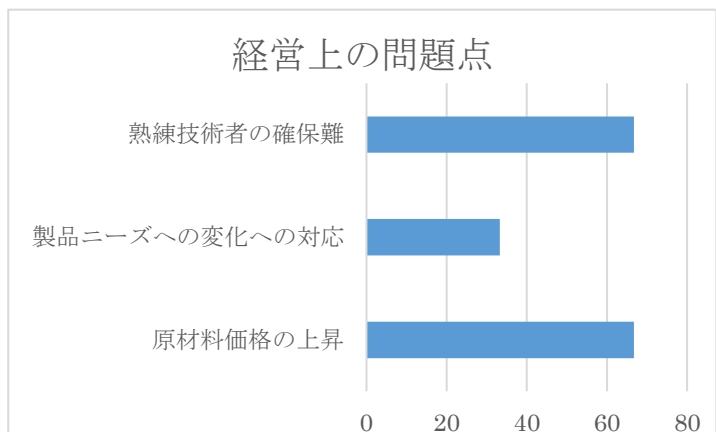


○今期の経営上の問題点

今回 1 位は、「熟練技術者の確保難」

「原材料価格の上昇」となっている。

更に「製品ニーズへの変化の対応」と取引先の様々なニーズへの対応が迫られている。



**建設業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (2019年4月～6月)		次期の見通し (2019年7月～9月)
		前年同期 (2018年4月～6月)に比べて	前期 (2019年1月～3月)に比べて	次期 (2019年4月～6月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	1	1	0
	不変	1	1	2
	悪化	0	0	0
	D・I	50.0	50.0	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	1	1	/
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	50.0	50.0	
受注 (新規契約工事)額	増加	1	/	/
	不変	1		
	減少	0		
	D・I	50.0		
材料仕入単価	増加	0	/	/
	不変	2		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	1	1	/
	不変	1	1	
	悪化	0	0	
	D・I	50.0	50.0	
採算 (経常利益)	好転	1	/	/
	不変	1		
	悪化	0		
	D・I	50.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

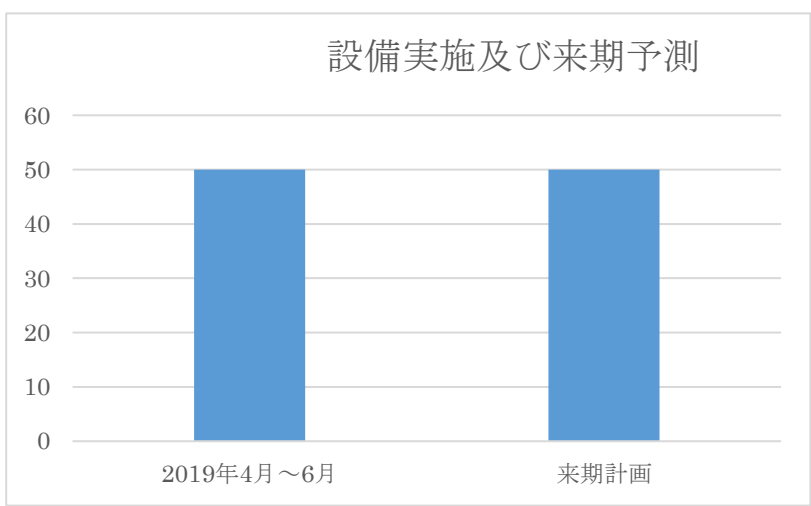
回答事業所の内、今期実施 50.0%が実施。

- 土地=50.0% ●工場建物=50.0%

【来期計画内容】

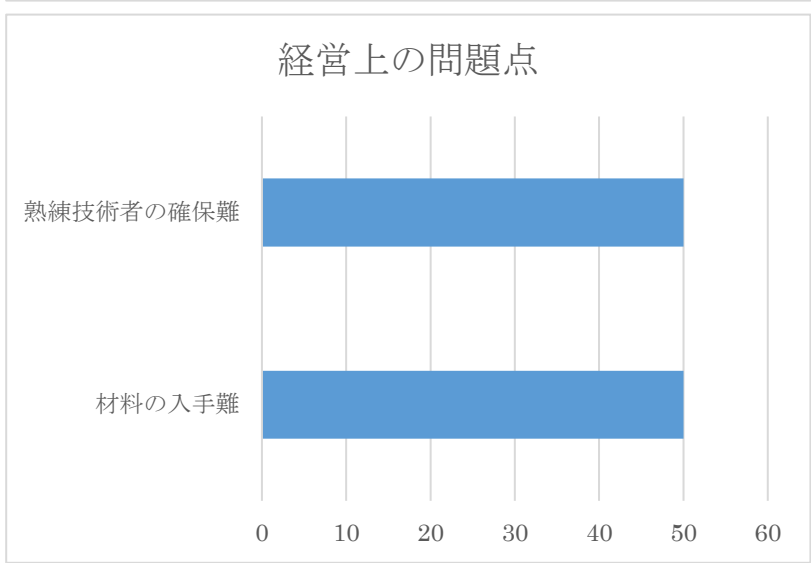
回答事業所の内、来期 50.0%計画。

- 土地=50.0% ●工場建物=50.0%



○今期の経営上の問題点

今回の「熟練技術者の確保難」と従業員の確保が上位となる。さらに「材料の入手難」と利益に直結する問題もある。



**小売業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2019年4月～6月)		次期の見通し (2019年7月～9月)
		前年同期 (2018年4月～6月)に比べて	前期 (2019年1月～3月)に比べて	次期 (2019年4月～6月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	0	0	/
	不変	4	4	
	減少	1	1	
	D・I	▲20.0	▲20.0	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	5	5	
	低下	0	0	
	D・I	±0	±0	
商品仕入単価	上昇	0	/	/
	不変	5		
	低下	0		
	D・I	±0		
商品仕入額	増加	0	/	/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	4		
	悪化	1		
	D・I	▲20.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、無し。

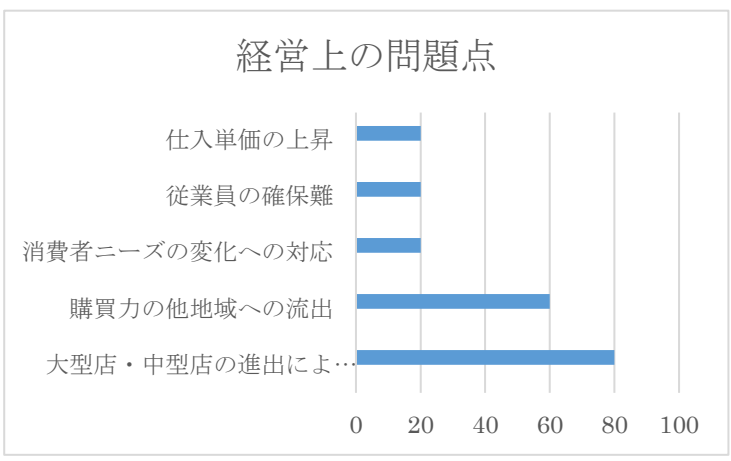
【来期計画内容】

来期計画も未定。



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「大型店・中型店の進出による競争の激化」がもっとも多く事業所より意見をいただいた。また、消費者ニーズの変化によりインターネットを利用した購買も進み常連客の減少も多いとの意見もありました。



状況	今期の状況 (2019年4月～6月)		次期の見通し (2019年7月～9月)
	前年同期 (2018年4月～6月)に比べて	前期 (2019年1月～3月)に比べて	次期 (2019年4月～6月)に比べて 来期の見通し
好転	0	0	0
不変	5	5	5
悪化	0	0	0
D・I	±0	±0	±0
増加	1	0	/
不変	3	5	
減少	1	0	
D・I	±0	±0	
上昇	1	0	/
不変	3	5	
低下	1	0	
D・I	±0	±0	
上昇	2	/	/
不変	3		
低下	0		
D・I	40.0		
好転	1	0	/
不変	4	5	
悪化	0	0	
D・I	20.0	±0	
好転	1	/	/
不変	4		
悪化	0		
D・I	20.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

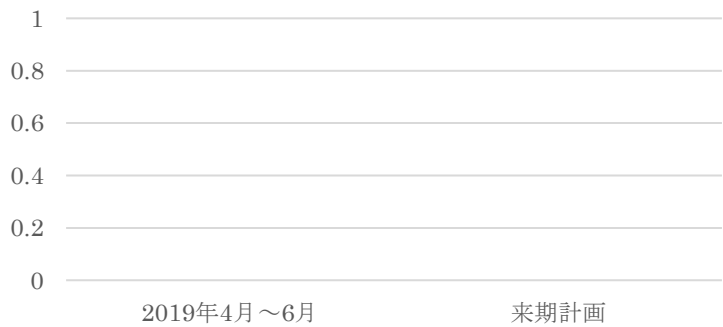
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施は無し。

【来期計画内容】

回答事業所の内、来期実施は無し。

設備実施及び来期予測



○今期の経営上の問題点

今回の調査で、「熟練技術者の確保難」がもっとも多く、従業員に関する意見を多くいただいた。

また、年々増加傾向にある仕入価格の上昇を商品及びサービスに価格転嫁できていないなど多くの問題が出てきている。

経営上の問題点

